

新刊第28号 [通算113号]
発行日 2007年7月20日
六興電気株式会社 社内報

ろっこう

新しい建設業

取締役兼代表執行役社長 長江 洋一



満面の笑みの社長

早いものでもう7月となり、夏季賞与の支給時期となりました。期末の部署業績は冬季に一括して反映されますが、経理部より発表された期末見通しによると、受注・完成工事高ともに昨年を上回る見通しで、受注額は433億5百万円(昨年比+30億83百万円)、完成工事高は403億24百万円(昨年比+12億27百万円)となる見通しです。しかし4月号の社内報でもお話したように、大幅な原価超過が4件発生したため、今のところ経常利益は9千万円にとどまり、前年比マイナス2億83百万円となる見込みです。このため、挽回に向けての活動を全社挙げて行っており、効果も出始めています。社員各位はこれから期末までの間、新たな損失を発生させぬよう気を引き締めて業務にあたってくださいようお願いします。

重要なのは原価意識

原価超過の原因を分析してみると、量を求めて採算に乗らない案件を受注した例と、民間工事を任せられた担当者が、官庁工事の感覚で民間工事を行って予算管理に失敗した例がありました。いずれの場合も問題は事前に認識されていましたが、なんとかなるといふ安易な考えに流れてしまった結果、大きな損失につながっています。そしてこの遠因に、我々役員に問題はなかったのか、という疑問を感じたため、「原価意識とは何か」をテーマに、執行役員以上を対象としたセッションを2泊3日で開催しました。

原価意識というと、すぐに実行予算が思い起こされます。しかし、会社の活動にはすべて原価があり、原価があるからには求める効果もあります。廊下での雑談といった一見価値がないような事柄も、じつは重要な効果があるものですが、一方ではいつものように作っている書類も、よく調べてみると価値がなかったりします。試しに原価意識のない人とはどういう人が想像してみると、「規則だからやる」「今までどおりにやればいい」といった調子で、何のために仕事をしているのか、どのぐらいのコストがかかっているのか、を意識しない人が思い浮かびます。役員セッションでもいろいろの例が示されました。たとえば材料が高騰して予算オーバーが予想されるとき、現状で手を打って赤字を確定させるかわりに損失の拡大を防ぐのは立派な原価意識といえますが、なんとか予算以内に抑えようと、価格が下がるまで発注を遅らせてギャンブルをするのは、原価意識とは言えません。営業マンについては、お客様から金額を提示されたとき、少しでも上積みできないか最後まで粘るのはもちろんですが、他に支払い条件の改善などにも気を配って、ほんとうの意味での原価を低減する努力を怠ってはなりません。デスクワークの場合でも、どうやって書類を簡単に作るか考えるより、その書類を廃止する方法を考えるほうが高い原価意識があると言えます。会議についても、「もしかしら必要かもしれない」と分厚い資料を用意し、「あの人もこの人も一応声をかけよう」と大勢の参加者を招集するのは原価意識が高いとはいえません。千葉のように、明確な方針の下で徹底した運営を行っている支店では、結果が業績に表れてきています。このように、正しい考え方を役員や支店長が持ち、それを部署内で徹底させることで、はじめて筋肉質な部署運営が行えます。みなさんも、原価意識という言葉をつねに頭の中におき、普段の仕事を行うようお願いいたします。

人材確保は順調

企業にとってもうひとつ重要なものは人材です。今年は建設業に関連した不祥事が続き、入社を希望する学生が減るのではないかと心配していました。しかし当社独自の勤務地選択型の方針が幸いして、大卒の採用は順調に進んでいます。6月末現在の内定者数は27名ですが、これは昨年の人数を大きく上回り、最終的にはほぼ予定に近いところまで伸びる見込みです。最終面接は私が全員に行っていますが、元気があって自分の考えを持っている候補者が多

く、将来を期待できる人材が多数集まったと手ごたえを感じています。これには、各支店長との一次面接を通じて、六興電気のおよさが学生に伝わった結果と思っています。

人材に関するもうひとつのトピックは、「行動するシニア軍団」の創設です。これは品質管理室の曾根部長のもとに、高度な技術や知識を持つ上に、交渉力にも優れたベテランの方々に集結してもらい、各現場で起きている様々な問題に取り組むグループとして発足しました。正式名称はテクニカルセンターといいますが、スローガンは「指導ではなく行動」です。一般の会社においては、ベテランのもつノウハウの伝授は、指導を通じて行おうとするのですが、ここでは行動を通じての伝授をねらっています。特に、実際に問題が起きている現場担当者は、指導を受けている余裕がないケースがほとんどなのではないでしょうか。そこでテクニカルセンターでは、支店からの要請に基づいて現場に入り、実務を処理してしまいます。同時にお客様との折衝など、経験を必要とする部分も代行して、現場がスムーズに立ち上がるよう支援します。支店の技術者は口頭で指導を受ける代わりに、ベテランの仕事ぶりからやり方を学びます。この活動は首都圏を中心に始めますが、最終的には全国の現場を対象に、問題が発生したときはもちろん、初期段階で本格的な乗り込みまでの繋ぎも行う予定です。

来期も民間主体

第67期の部署経営計画策定が始まりました。ところで、相変わらず談合事件が毎日のように報じられており、罰則が強化されただけでなく、緑資源公社のように、来年3月に解散と、官側も厳しく罰せられる時代となりました。厳しい罰則の前で、同業各社もコンプライアンスを本気で考え始めています。まずこの点を、当社もしっかり受け止めなければなりません。官庁の入札においても、低入が問題視される一方で予定価格が低すぎて不落となる案件も急増しており、利益が期待できない案件も増えています。このような状況の中で、当社の施工に占める官庁の比率は、10年前で40%、5年前でも25%あったものが、66期の前半をまた段階では受注ベースで5%に激減しました。このことから、官庁工事にかかわる変化がいかに激しいかわかります。つまり、官に従って生きてきた時代から、自分で考え行動する時代に変わりつつあるのですが、見方を変えれば、建設業も普通の産業に生まれ変わろうとしているのです。他方では、1つのプロジェクトで1,000戸を超えるような、超大型案件も多数出件されるようになり、民間は活況を呈しています。幸いにして、六興電気は3年前から民間主体に舵を切り、住宅をはじめとした物件対応ノウハウも蓄積されてきました。実際、民間への切り替えが早かった支店はトップクラスの成績を走っており、この方針は正しかったことがわかります。従って、第67期も民間主体の経営計画を策定します。

民間案件で勝ち残るには、総合力が必要です。そのためには、官庁工事の場合のように、何でも分離発注を目指すのではなく、我々をパートナーとして扱ってくれる先とは密接に協力してゆく必要があります。しかし逆に、単なる使い捨てとしか考えてくれないところとは、疎遠にならざるを得ません。これは我々と協力業者との間にも言えることで、六興電気が協力会社から選別されないよう、今まで以上に親密な付き合いをしてゆかねばなりません。そして、利幅の薄い民間案件で残した利益を浪費しないような、筋肉質な体制が必要で、我々は過去3年間に、拠点配置の見直しやOBの削減、人材の流動化と現業へのシフトなどを行ってきました。冒頭にお話したように今期は厳しい決算となりますが、体質的にはすでに他社よりも一歩先をいっています。ですから皆さんは自信をもって、仕事を行ってください。ただし今まで以上に原価意識を持っていただくよう、お願いします。

長江洋一

2007年7月号 目次:

創業58周年記念式典	2
中間決算報告	3
各支店で安全衛生大会	3
各地の竣工物件	4
部署紹介 - 四国支店 -	5
ろっこうニュース	6・7
・36カチット販売開始	
・行動するシニア軍団誕生!	
・規程の制定と改定	
・Bravoプロジェクト大阪に展開	
・役員セッション	
・久々の笑顔(野球部)	
・活躍するろっこうOB	
・Diary	
お世話になりました	8
美味しいお店(番外編)	8
日生力キ祭り「カキオコ」	
People	8
休日もパパは頑張ってます	
リレートーク	8

創業58周年記念式典開催



表彰状を受け取る 経理部 丸山さん

当社が創業以来恒例行事として実施しております創業記念式典が、今年も5月12日(土)に、午前中の経営会議に引き続き開催されました。本式典は、創業した1949年5月20日にちなんで毎年5月に開催されております。当社の経営理念が謳われた社は6か条を役員並びに社員の一人ひとりが再確認し、六興電気を永世に伝える決意を共有する場となっております。今年装いも変えて場所を建築会館に移し、役員・幹部社員・表彰を受ける社員に入社2年目の社員・10年目の社員、当社のOB組織である「六友会」さらにご招待した協力会社の方々を含めて総勢169名の参加となりました。

長江社長と創業者である長江名誉会長から式典の挨拶が次のようにありました。長江社長からは、「建設業を取り巻く状況は非常にめまぐるしく変わってきており、その変わり方も従来には見られない新しい形に激変しているように感じています。その最たるものが官庁工事のあり方に現れてきております。指名制度が形骸化し消滅の方向に向かいつつあり、指名でいただく仕事が全く無くなってしまふ、このようなことは4・5年前には考えもつかないことでした。同業他社にはこのような激変した環境に追いついていけず会社を閉めてしまったという話も聞いております。このような状況下において、どうしたら我々は新しい建設業界で生き残っていけるのか、という正念場を向かえているのではないかと思います。そこで我々はここでどの様に考え、どの様な行動をとるのか、それがこれから

先の六興電気のあり方を決めることとなります。六興電気を永世に伝えて行くために何か必要かという、厳しい状況を乗り切る智恵ではないかと思ひます。その智恵について、本日お越しのOBの方々、協力会社の方々、そして役員・社員同士が十分な情報交換と親交を温めていただいて、これからの荒波を乗り切っていくための智恵をつけて頂きたいと思っております。それから、1年間を通じて素晴らしい仕事をしていただいた社員と25年永年勤続者に対してお礼を申し上げ表彰したいと思っております。」長江名誉会長からは、「六興電気の創業時を知る人は他には居なくなり、私一人となった今、改めて創業時の経緯をお伝えして本日の挨拶としたい」とのお言葉があり、六興誕生の経緯から亡き前社長山路政和氏にバトンタッチした50年間の歴史について懇切丁寧にご説明がありました。紙面の都合上内容の詳細は省略させていただきます。

各賞の表彰は、「25年永年勤続者表彰6名」「優秀個人賞15名」「優秀グループ賞2件」「創意工夫努力賞1名」の表彰者全員に社長から賞状と記念品及び金一封が手渡され第一部が終了いたしました。

引き続き開催された第二部の立食懇談会は石坂会長の挨拶と乾杯の音頭でスタートいたしました。石坂会長からは「本日は六友会のOBの方々と協力会社代表者の多数の方々に参加いただいておりますので有意義な情報交換と知恵を授かりたい」との挨拶がありました。北海道からは樺電工業(株)代表取締役社長平沼冠三氏(横浜支店OB)を始め遠隔地からわざわざ駆けつけていただいたOBの人達や一年振りにお会いしたOBの方々の談笑風景やら記念撮影やらがあちこちに輪となり智恵を授かる光景が随所に見受けられました。予定した2時間もあっという間に過ぎてしまい、宴の中締めには、当社施工部OBで現在は当社工事安全衛生協力会会長を務めていただいている、(株)金澤電工代表取締役社長金澤 忠様の三本締めで式典は盛会のうちにお開きとなりました。来年の再会を楽しみにしております。

(人事部長 堀川義規)



OBの方々と情報交換

25年永年勤続者

- ・東京第三支店 三浦 清志
- ・九州支店 芹川 健彦
- ・東北支店 針生 正
- ・九州支店 八反田 幸仁
- ・北関東支店 渡辺 博
- ・原価管理部 辰野 英明

私は昭和57年の入社以来、ずっと九州支店にて勤務しております。入社当時は今から考えますと随分頼りなかったのではないかと思いますし、入社直後に配属された現場では、ハツリや穴掘などをやっていたことを思い出します。そのうち当時の支店長より、「おまえは営業をやれ」ということで、2年目から営業担当となりました。夜討ち朝駆けなどもしてみたものの、1件も受注には結びつきませんでした。今から考えますと、その後工事をやる上では大変な年になった1年間でした。そんな事も再び工事に戻され、鹿児島や宮崎地区の現場を職人さんと共に寝泊まりしながら、工事をやっていたという事も思い出します。30代前半に大型マンションを担当した際には、脚の骨を折る事故なども起こし、当時の上本副社長に「お前は」と言われ、(その件については、つい最近まで言われ続けました。)40歳前後には四国支店や中国支店に現場出張し、この頃は私自身も絶好調で「こんなにおもしろい商売はない」という気持ちでした。厄年を迎えるあたりで、上本副社長より「営業をやれ。」とのこと。それからというもの、毎月の営業会議で叱咤・叱咤・激励を受ける中「来期からは支店長だ。」ということで今の職務に就いております。また、支店長に成り立ての12月の経営会議で長江社長と朝風呂が一緒になり、2人きりで社長よりいろいろ話を頂いた事は、鮮明に覚えております。

我々は「次の世代は君たちだ。」とよく言われますが、本当の意味でこのことを理解し、実践していかなければなりませんし、私自身としても今の職責を果たして参ります。本日は永年表彰有難うございました。(九州支店 芹川健彦)



25年永年勤続者

優秀個人賞

- ・東京本店 藤野 勝浩
- ・東京第三支店 島 靖暢
- ・東京本店 鈴里 英正
- ・北海道支店 工藤 貴浩
- ・東京本店 小岩 伸也
- ・新潟支店 高沢 毅
- ・東京本店 宮崎 主税
- ・千葉支店 岡崎 祐司
- ・名古屋支店 原田 健
- ・中国支店 進矢 浩之
- ・大阪支店 土橋 直樹
- ・経理部 丸山 尚子
- ・大阪支店 木元 正樹
- ・経理部 障子 貴洋
- ・神戸支店 澤 高志

500戸近くの大型マンションの施工は始めてでした。留意した点はまず住戸内の施工の統一化です。A~D棟とありましたので住宅では5班に分け施工を行いました。躯体・先行配線・間仕切り配線といった工事毎にまずモデル部屋をつくりその部屋で検査等でのチェック項目・写真を用い協議・指導を事務所を含め各班の電工さんで行い、施工のパラツキが無いように留意しました。

材料では施工材料の統一・無駄が無い様に住戸内で材料項目表を作成し事務所・電工さんでお互いに管理出来るようにしました。それから住宅棟で5班(共用棟・駐車場棟・附属棟・外構・ピット)とたくさんの班を分けました。その中で施工範囲の問題・落ちが無い様に施工分担表及び図面に色分けを行い施工範囲の明確化を図りました。

次に事務所内は4人と多数いた為、昼の打ち合わせ・定例打ち合わせでの決定事項の報告、現場内での問題点を解決する為、夕方に打ち合わせを行い情報の共有化や事務所内のコミュニケーションを図りました。

以上のような事を行いましたが、これらは当たり前だと思う人がいるとは思ひます。しかし当たりのことを当たり前にするというのは、実はとても難しいことだと思ひます。

私がこのような賞を頂いたのは事務所内では3年目の山

川君・2年目の菅藤君、メルビク電工(株)の松尾さん・磯野さんといった、とても年齢が若い事務所で他業者には生意気だと思われたかもしれませんが、何事にも遅れが無いように一緒に頑張ってもらったお陰です。現場ではメルビク電工(株)さん、(株)モエテクノスさん、日興工業(株)さんの方々、弱電業者の皆さま、他多数にお世話になりました。みんなで心を1つにして目標に向かうことの大切さが分かる現場でした。

(東京本店 鈴里英正)

創意工夫努力賞銀賞

- ・名古屋支店 菱田 祐一郎



今回このような賞をいただけたのは、京増支店長をはじめ名古屋支店の社員の方々、協力業者の方々、また大阪から来てくださった協力業者の方々のおかげだと思ひます。

この現場は大阪支店より異動してきて初めて竣工を迎えました。今回の現場はうまくいきましたが、難しい事は何もしていません。正直、うまくいった秘訣

は2つあります。1つ目は、「初心に戻る」という気持ちで、細かい点にも気を配りながら取り組みました。2つ目は「コミュニケーション」を大事にしました。大阪と現場の空気、雰囲気が違うので、現場の方々といろいろな話し合いをしました。「現場はどのように進めるのか?ここはどうしたら良いのか?」質問をたくさんしました。こちらからはいろいろな情報を報告しました。そのことで現場運営がスムーズに進み、結果として創意工夫努力賞につながったのではないのでしょうか。以上の2点ですが、他に質問がある方は直接聞きに来て下さい。本日はありがとうございました。(名古屋支店 菱田 祐一郎)

中間決算報告

第67期の中間決算は、好調な受注環境を受けて、手持ち工事の増加が反映されており、完成工事高が24,702百万円(前期比1,806百万円の増)となりました。しかしながら数件の赤字工事の完成と受注時の損失(工事損失引当金)の計上が重なり、完成工事総利益は1,078百万円(前期比378百万円の減)となりました。販売費・一般管理費の抑制(前期比69百万円の減)に努めた結果、本業の儲けを示す営業利益は72百万円(前期比308百万円の減)となり、増収・減益となりました。

バランスシートの受取手形(前期比778百万円の増)・支払手形(前期比920百万円の増)・工事未払金(前期比2,192百万円の増)も増えており、BSからも手持ち工事の順調さが読み取れます。(経理部長 坂本孝行)

優秀グループ賞

上尾愛宕ショッピングセンター新築工事

- ・北関東支店 高木 末次・北関東支店 小谷野 晃
- ・北関東支店 森定 祐二・北関東支店 猪熊 一仁
- ・東京第三支店 並木 祐一
- 山陽自動車道竜ヶ岳トンネル照明設備取替工事
- ・新潟支店 樋口 隆・中国支店 中山 憲也

この度、上尾愛宕ショッピングセンター新築工事に、優秀グループ賞を頂き大変驚き、光栄に思います。



現場はショッピングセンターの為、当然工期が非常に短く、テナント等がなかなか最終決定しないという、どここの現場でも同じ様な問題を抱えていました。今回は、現場乗り込み時に本社工事本部からの助言や施工例の提供を受け、また本社設計部より設計を担当した前田伸樹君にも協力してもらい、施工がスムーズに進みました。施工管理体制は当社スタッフとして私をはじめ、小谷野、森定、猪熊、並木の5名、派遣社員(代人1名、CAD1名)及び各協力業者から現場代人を出してもらい、当初より施工方法及び施工手順を当社員と綿密に打合わせし、VE案等を出しあい、互いの利益になるように調整しました。

施工図は協力業者が請負区分毎に作成しまして、施工図が間に合わない時や工事区分際の際の取合いは担当社員及び派遣社員でフォローしました。

施工体制は、協力業者を各フロア毎に配置、1階に南部電設(株)、2階に(株)動電舎、3階及び外構工事に(有)辺電業、幹線設備に(株)金澤電工とし、互いに良い方向で施工技術を競い合い、良い製品をお客様に提供出来たと思います。当作業所がこの賞をもらったのは当社工事本部、設計部、営業、現場代人、協力業者、代理店、メーカー等がお互いの立場を認め合い、一致協力した、おかげだと思います。

現場をスムーズに進める為のコツとして、1つ目は電気設備工事のマスター工程を作成し、大きな問題点を洗い出し早急に対策を講じる。2つ目は「へたな考え休みににたり」的の外れたことを幾ら考えても無駄な時間過ごすだけ(給料泥棒はやめましょう)。3つ目は打合わせ会は戦場だ、打合わせで負けたら、損をする、打合わせに勝てば儲かる。打合わせのときは、用意周到に理論武装、及びデータ収集、いかなる質問にも、優位に立つこと。以上の3点です。

本日は現場作業員一同を代表として、荣誉ある賞を頂き誠にありがとうございました。(北関東支店 高木末次)

貸借対照表 2007年3月31日現在

科目		科目	
(資産の部)	金額	(負債の部)	金額
流動資産	23,328,556	流動負債	19,387,944
現金預金	2,602,986	支払手形	7,041,871
受取手形	6,618,119	工事未払金	6,229,912
完成工事未収入金	7,332,714	短期借入金	930,000
未成工事支出金	6,394,940	未払金	258,589
材料貯蔵品	934	未払費用	122,144
短期貸付金	12,000	未払法人税等	24,000
前払費用	18,703	未成工事受入金	4,162,248
立替金	80,169	預り金	73,208
繰延税金資産	259,029	完成工事補償引当金	4,000
その他	131,959	賞与引当金	236,970
貸倒引当金	123,000	工事損失引当金	305,000
固定資産	2,841,205	固定負債	1,391,250
有形固定資産	589,524	退職給付引当金	1,326,940
建物・構築物	385,600	役員退職慰労引当金	61,310
機械・運搬具	22,404	その他	3,000
工具器具・備品	23,176	(純資産の部)	(5,390,565)
土地	158,343	株主資本	
無形固定資産	31,346	資本金	500,000
電話加入権	31,346	資本剰余金	160,680
投資その他の資産	2,220,334	資本準備金	160,680
投資有価証券	721,033	利益剰余金	4,543,838
長期貸付金	1,640,513	利益準備金	125,000
差入保証金	120,389	その他利益剰余金	
ゴルフ会員権等	90,770	別途積立金	4,237,648
破産債権等	18,956	繰越利益剰余金	181,190
繰延税金資産	711,191	自己株式	380
その他	2,872	評価・換算差額等	186,427
貸倒引当金	1,085,390	その他有価証券評価差額金	186,427
資産合計	26,169,761	負債・純資産合計	26,169,761

損益計算書 2006年10月1日～2007年3月31日

科目		金額	
(経常損益の部)			
営業損益			
完成工事高		24,702,503	
完成工事原価		23,624,103	
完成工事総利益		1,078,400	
販売費及び一般管理費		1,005,618	
営業利益		72,781	
営業外損益			
営業外収益			
受取利息及び配当金	8,238		
その他	40,865		
		49,103	
営業外費用			
支払利息	3,588		
その他	26,909		
		30,498	
経常利益		91,387	
(特別損益の部)			
特別利益			
貸倒引当金戻入益	54,417		
その他	5,245		
		59,663	
特別損失			
固定資産売却損	3,195		
貸倒引当金繰入額	400		
		3,595	
税引前当期純利益		147,455	
法人税・住民税及び事業税	10,300		
法人税等調整額	36,190	25,890	
当期純利益		173,345	

各支店で安全衛生大会

今年も全国安全衛生週間および準備月間を迎えまして、全国の支店で協会との共催による安全衛生大会が開催されました。各支店ではそれぞれ趣向を凝らして、安全週間における重点取り組み事項の確認や安全意識の高揚に取り組んでおります。今回はその中から新潟支店と九州支店の安全大会をご紹介します。

九州支店

6月13日「三井ア・バンホテル博多」にて沖縄、大分、熊本、長崎からも出席者があり、約60名の参加となった。



芹川支店長の挨拶

芹川支店長から「もし事故が起きたらどうしなければならぬのか、その事を熟知し、事故・災害に遭遇しないようお互いがカバー・しあい、各々が早め早めに対応し、自主的に安全を守って行きましょう。」と協力要請があり、次に出口支店長からは「事故を起こせば致命的となる。人の話を聞き、ルールを遵守して安全に取り組んでもらいたい。」と挨拶があった。

来賓として出席された重村西日本本部長からは「安全でなければ物事は進みません。自宅を出て家に帰り着くまでが安全でなければなりません。安全と健康に一人ひとりが気を付け、ヒューマンエラーをしないでこの1年間を頑張りましょう。」と激励された。

大会は、表彰・安全活動報告・西日本本部の河村課長の安全講和・大会宣言と推移し、最後に博多警察署より3名が出席され、ビデオを交えた災害警備について特別講話をして頂き、安全衛生大会は滞りなく終了した。

引き続き隣室にて懇親会を開催しお互いの親睦を深め、有意義な時間を過ごして閉会した。(九州支店 松尾和幸)

新潟支店

6月5日に「白玉の湯 華鳳」で行われました。

(株)坂電工業 坂爪支部長より、「事故も無く笑って安全大会を迎えられありがとうございます。来年も笑って迎えられるよう各社一層のご指導をお願いします。」との挨拶から始まり、内藤支店長から「うっかり・ぼんやりの事故、一人親方の事業主の事故も増えているので特別労災の加入、送り出し教育の徹底をお願いします。」と、職場の安全確保のお願いと協力のお話をいただきました。

そして、長江社長からは、「建設業は受注環境等の見直しが行われているところであり、当社は非常に厳しいが民間対応にいち早く着手したので、民間のみで出来る状態になって来ている。2・3年が勝負であり、社内の体質強化・無駄を省き乗り切るので一緒に頑張りましょう!ついてきて欲しい。」と力強いお言葉を頂き、金澤会長からも「工事業界のトップクラスであることを協会として誇りに思う。六興の精神を忘れずに、いかに事故を起こさないかという意識を持って来年も無事故という報告を受けられるように。」とお言葉を頂きました。その後、受賞者安全活動報告、安全衛生活動報告では現場での安全活動の報告をしていただきました。



落雷予測の講演をする社長

今年の新潟支店の講演は、長江社長より「新しい方法による落雷の予測」という演題でご講演を頂きました。博士号を取得しようとした経緯や落雷予測を考えたのはなぜか?といったお話、実際に新しく開発したシステムの説明等、思わず頷いてしまう興味深い講演内容でした。

大会後の懇親会では、各協力業者さんとの交流を深めることができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

(新潟支店 佐々木 深雪)

各地の竣工物件

東洋インキ製造(株)富士製造所S棟増設工事

契約先 東洋インキエンジニアリング(株)
東海興業(株)
設計監理 (株)建造テクノス一級建築士事務所
工期 2006年6月～2007年6月
施工場所 静岡県富士市天間
建築概要 鉄骨一部鉄筋コンクリート造
地上8階 地下1階
延床面積 7,048㎡
施工部署 静岡支店



当現場は、富士市内で着々と工事が進んでいる第二東名建設工事に近い位置にあります。第二東名を東京方面に走れば、当建物の看板がよく見えるでしょう。7年後(平成24年開通?)が楽しみです。

今回の建物は顔料の製造工場です。殆どが高所作業車での作業となりました。高所での作業が多かったため、転落事故が無いように充分注意喚起しました。機器の配置、メンテナンス及び照度確保を考慮し、客先と綿密に打合せを行い決定しました。予定よりも十分な照度確保が出来たと思います。工場ということもあって、大型機械・タンク等今まで見たことのない動力機器が多数ありました。400Vの400kwモーターが搬入したときは、唯々圧倒されっぱなしでした。今までには経験したことのない体験が出来ました。

竣工まで苦労したことが多数ありましたが、施主(東洋インキエンジニアリング)様の担当者、現場のスタッフ・職人さんの協力で無事に現場を終わらせることが出来ました。

(静岡支店 近藤祐介)

名取市関下土地区画整理事業照明設備



契約先 西松建設(株)東北支店
設計監理 (株)オオバ
工期 2006年10月～2007年4月
施工場所 宮城県名取市関下
建築概要 敷地面積695,000㎡(69.5ha)
大手町下増田線(幅員27m)他
都市計画道路線への照明柱建方
施工部署 東北支店、北関東支店 JV

宮城県のほぼ中心に位置する名取市。西へ行けば山、東へ行けば海と自然に恵まれた場所で、市の中心には国道4号線、市東部には仙台東部道路、市南部には仙台空港と交通の機能が充実した市でもあります。そんな中に仙台駅から仙台空港までを結ぶ仙台空港アクセス鉄道の横断、新駅築造に伴い周辺一帯の土地区画事業が平成16年～24年までの事業計画になっております。

今回の工事は平成18年度道路築造工事に伴う照明設備工事(道路照明)で、都市計画道路総延長約5km(上下線を合せる約10km)の電線引込管、照明柱214本を建方するのが今回の工事内容でした。今回もまた一般の建屋建築工事と違って(今回は全農宮城精米工場)まるっきり土木工事現場。最初は途惑いもありましたが開き直り、簡単に考えれば「建屋工事の外構工事をちょっと?広くし、ちょっと?背の高い庭園灯を建てる仕事」だと思いながら工事にあたりました。とは思いますがやはり一般の建築工事現場とは違いました。

まずは敷地の広さ。例えば月並みではありますが「東京ドームが15個分」と言う広さで場内を歩きで廻ろうとしたら、2時間は事務所には戻ってこれず、場内の移動には自転車が必要品でした。又、建築工事との違いとして高さが無いので安全帯は不要。その代わりにバックホウ等の重機、碎石運搬ダンプ等が場内を走り廻っている為、作業員が目立つ様にと「寅チョッキ」(建築現場の出入口誘導員が着用している蛍光カラーのチョッキ)を着用するのが決まりました。(高所作業車使用時は安全帯使用)

最後に現場代理人の自分は他の打合せ等で現場を離れる事が多かったのですが、施工スタッフとして社内JVで北関東支店から来た熊沢君、東北支店の村市君、この若い2人が寒い時期にも関わらず自転車で現場内を走り廻り汗を流し、泥にまみれて頑張ってくれたおかげで無事竣工出来た事を付け加えさせていただきます。



(東北支店 早坂和孝)

社会福祉法人聖隷会 特別養護老人ホーム 霞ヶ浦の里

契約先 戸田建設(株)
設計監理 (株)市毛建築設計事務所
工期 2006年8月～2007年5月
施工場所 茨城県かすみがうら市
建築概要 延床面積2,981㎡
RC造・一部S造(屋根) 2階建
施工部署 茨城支店



個室



オープンスペース

当施設は、常磐線土浦駅から車で30分ほどの距離にあります。移動中にはわが国第2位の面積を誇る湖「霞ヶ浦」を右手に望み、レンコン(特産品)水田と田畑というのどかな田園風景を楽しむ事ができます。

施設の特徴として、全て12室の個室を1単位とするユニットケア方式を採用しており、各ユニット毎に、キッチン・トイレ・洗濯・浴室・食堂・機能回復訓練室があります。このユニットが計6ユニットで構成されています。共用部は、厨房・特殊浴室・介護職員室(医務)からなっております。またフロア 毎に介護職員がオープンで中央に配置され、利用面と介護面で使いやすい形になっています。

2006年8月21日に建築が着工し、当社は10月17日、第5回定例から現入しました。その時点で地中梁は50%躯体打設しており、幹線ルートの変更と仕様変更(VE等)・施工図作成に追われました。施設面としては特別な設備は無く、工程も順調に推移し、ゴールデンウィーク明けの5月7日から社内検査・ゼネコン検査が始まり、10日に行政検査(消防・主事)を行いました。その後5月15日の施主・設計検査後、5月21日に無事引渡となりました。

(茨城支店 中里哲玄)

新浦安M38街区計画(パークシティグランド新浦安)



契約先・設計監理 三井住友建設(株)
工期 2005年10月～2007年4月
施工場所 千葉県浦安市明海
建築概要 延床面積 99,413㎡
RC造 地上14・18階(550戸)他
施工部署 千葉支店

当現場はここ数年で人気急上昇し、セレブたちの集う高級住宅街へとすっかり変貌を遂げた新浦安地区にあります。皆さんもマリナーゼという言葉に耳にしたことがあると思います。

この地区のマンションの売りは高級住宅街の名に恥じない平均130㎡超の広い住戸面積です。クローゼットを洋室と間違えてしまいます。その他に共用部もラウンジ、フィットネス、陶芸ルーム、キッチンスタジオ、シアタールーム、カラオケスタジオなど盛り沢山です。ちょっと珍しいものとしてはアイルと呼ばれるエリアがあります。ワンルームの戸建てが24戸あり、こちらは入居者向けに分譲され、奥様の趣味の部屋、旦那様の隠れ家のようになっています。また、このエリアでは屋外でもパソコンが使えるように無線LANのアクセスポイントを設けてあります。その他にエントランス及び共用ルームでは、SUICAカードを利用したカードリーダーシステムも採用しており、留守中の来訪者の画像や家族の帰宅を携帯電話に転送するサービスなども行っています。

施工で苦労した点は最近流行の住戸内オプションの管理はもちろんです。なんとと言っても外構が広いのには参りました。別棟が多く電気室も別棟でしたので幹線をはじめ、何のケーブルを引くにしても遠いこと遠いこと。他にも色々苦労したことはありましたが、敷地面積50,000㎡、延床面積100,000㎡の現場を実質工期約1年で完成させることができたのも、優秀なメンバーに恵まれ、多くの優秀な協力業者の方たちの協力を得ることが出来たおかげだと思えます。

(千葉支店 小林 誠)

部署紹介

四国支店



左より 白水・柴田・濱垣

て、平成8年にKKR高松病院の監理技術者兼現場代理人として四国支店に配属となり、現在に至ります。

さて、この度は四国支店長という大役を命ぜられ責任の重さと、部署経営の難しさと、厳しさを痛感しております。四国支店の経営方針は、これまで4県に分散していた施工力を香川と高知に集中させ、愛媛及び徳島の営業所を閉鎖し、長期的に安定し存続できる仕組みを確立することです。

営業方針としては、高知地区の古くからのエンドユーザーに対する小回りの利くサービスを強化・拡大し、利益率の良い小さな工事をこつこつとこなし、経営のベースとします。また、香川地区ではゼネコンを主体に高知地区の物件も含め、場所や規模、種類の狙いを定め、物件を取り込んで支店を運営していきたいと思ひます。

施工面では、電工さんの高齢化による不足や大規模工事に常用などで流れてしまう傾向が多く、優良な協力業者の確保が迫られています。四国支店ではこれまでの協力業者との付き合いを深くすると共に、若い電工さんが多い新規の協力業者を積極的に採用し、共に勉強し発展する考えで、継続的に発注して行ける様に取り組んでいます。

最後に、私一人では何も出来ませんが、支店社員一人ひとりが能力を最大限に発揮すれば、必ずこの難局を乗り越えられると確信し、目標に向かって使命を果たすべく死力を尽くす所存です。若輩者でございますが、これからも諸先輩方のご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

(四国支店長 柴田研一)

東出 博美

昨年の10月1日付けで大阪支店より四国支店に転勤になり、早や10ヶ月が過ぎ単身赴任の生活にも慣れましたが、初めの頃は夜帰った時に借上社宅の鍵と大阪の家の鍵をよく間違えてドアを開けようとしていました。転勤するまでは、四国地方は一つというイメージでございましたが、生活してみても四国であっても香川と高知では文化が違う事が解りました。支店のみんなと一緒に業績向上のために日々奮闘しております、これからもご支援よろしくお願い致します。

宮本 朝次

南国土佐に来て、気候や人柄が我が故郷、紀州は和歌山に似ており、鯉の塩たたき・新高梨・文旦・小夏・日光・どろめ・のれそれ栗焼酎ダダ、素晴らしい山の幸、海の幸があり、太平洋や四万十川を一望し、また、絶景の霊峰石鎚山に登り休日は土佐でしか味わえないひと時を過ごしています。しかし一端、六興電気の作業服を着ると今まで培った六興マンの血が騒ぎ、年甲斐も無く先陣に立ち指揮を振っています。



四国支店は新体制になり、若い力の見せ所である。困った時は我々老将が居る事を忘れず若人達で新たな支店の礎を築いて欲しい。

片平 進人

入社19年目になります。8年間本社工事に在籍し、9年目から四国支店に転勤になり約10年で香川・愛媛・徳島・香川と2年～3年のペースで現場を担当してきました。今年の2月から大阪の現場担当になり現在5ヶ月が経過しています。地方から出てきたせいか浦島太郎状態になり戸惑いました。現在は、現場と借家と四国の自宅を行き来するだけですが、色々な観光地を巡ってみたいと思っています。

宮本 剣

入社してはや17年、四国支店でも早いもので11年が経ちました。物件も官民ともに色々経験する事ができ、最近手持ち現場を持ちながら小額工事やリニューアル、高知エリアの工事のまとめなど遂行しています。少人数の中で、経験を無駄にせず、何でも今まで以上にトライしていき、連帯力も深めながら規律とけじめの大切さを忘れず、頑張っています。

大西 良司

現在、中国支店との社内JV現場に常駐しています。毎日瀬戸大橋を渡って電車で通勤しています。橋からの眺めが唯一の気分転換です。作業環境が非常に厳しく、防塵マスクなしでは入場出来ないような状態です。油断していると鼻の中は真っ黒、喉の調子もおかしくなる、これから暑くなり環境はより一層厳しいですけど、岡山の目玉物件ですのでかっこよく完成させたいですね。

西川 雅司

入社して早15年が過ぎました。入社当時から管理室で現在は高知営業所に居まして一人で伝票入力から管理室の仕事をしてやっています。実際全ての仕事をしてみてこんなにも沢山の仕事が有って大変なことを痛感し、今まで居た女性事務員の有難さが解りました。今後、支店と高知営業所を行き来して、長期に渡って採算の取れる部署の体制と仕組みを作りたいと思ひます。

濱垣由美子

7年前に自宅を新築し、念願であった無農薬の庭造りを始めました。無農薬の基本は土からと言うことでしたので週末になると本を読み、土と格闘し、7年目にしてやっと何とか自分の思う庭になってきたかなと思っています。庭造りには最低でも5年はかかると聞いていたがなんせ自然が相手、なかなか思うようにはいかないものです。7年の間にはご近所様にガーデニング友達もでき今ではお互い苗や種を交換しあったりしています。毎日の仕事ではスピードを求められますが、時間や手間がかかるからこそ喜びも大きい庭造りをするので私自身もバランスがとれているのかも知れません。癒される庭をめざしてまだまだ挑戦は続きます。

小松 進也

入社して早10年目を数えるようになりました。まだまだ未熟な私ですが官庁の土佐市民病院電気設備工事を担当しています。この現場は常駐時期から困難が多く、見通しが非常に悪いが、私をサポートして頂いている宮本部長や中村さん岡崎さんと色々な打合せや話をするうちに、光が見えて来た～～～あ、その光はまだ小さいが、非常に力強く輝きに満ち溢れています。困難が多く暗い道のりで在るが為にこの光は、輝



左より 田邊・高橋・竹崎・宮本 剣・東出・濱田・西川・野村

きを増す事でしょう。たまには、その輝きが強すぎ眩暈し、あららら～イテと言う時も在りますが、それはそれ、この土佐に集いし志士は坂本龍馬の意志を継ぎ、一花咲かせましょう。

白水 亮

入社してはや9年、結婚して1年ちょっと。結婚してから特に月日が経つのがすごく早く感じている今日この頃です。(嫁とよく喧嘩をするから・・・?)小遣い制の今は、趣味にお金をかけることも出来なくなり無趣味状態、何かお勧めの事があれば是非教えて頂きたいものです。とりあえずは、資格をとるために勉強でもと思っています・・・。

高橋 伴明

私は情報通信課という我が社では唯一の部署に所属し、日々お客様宅へCATVの引き込み工事業務を行っています。早いもので入社して4年になりました。作業箇所は電柱上・屋根の上や天井裏等もあって危険箇所も結構多いです。しかし、最近体力も落ちているのか体重が増えたのか、作業をしても動きが鈍くなったなあ(特に上がり降り)痛感することがあります。とにかく事故には注意して四国支店発展のために頑張りたいと思ひます。

竹崎 浩寿

高知ケ・ブルテレビから六興電気高知営業所にきて4年になります。電気工事のみさんのバイタリティあふれる仕事に負けるまいと日々奮闘中です。日本一のケーブルテレビ工事屋めざしががんばりますのでよろしくお願い致します。

田邊 久実

現在、情報通信課ケーブルテレビの工事全般を担当しています。今からの時期は季節との戦いです。暑さはともかく、高知の雨、台風は半端じゃないです。是非、体感しにへんしも(土佐弁)きて下さい。自分の中での合言葉はコーキングよしって感じです。雨にも負けず風にも負けず、これからもみんなまで盛り上げて頑張りたいと思ひます。

野村 ゆかり

入社して4年目になります。日々、お客様の電話対応に追われてます。営業所で女性一人ということもあり、皆さんにずいぶん助けられてます。感謝感謝です。今はまってるのが、岩盤浴。ありえない程汗が出るわ出るわ、ストレスも解消スッキリ!!美容やダイエットにも効果があるみたいですが・・・効果でてるかな?!

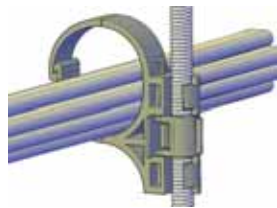
濱田 紘平

6月よりビジネスホテルの現場を担当しています。最近お酒の飲みすぎでおなかの周りがかかなりヤバイことになっていることもあり、夜中にやっている通販でビリーのブーツキャンプを買っちゃいました。実際やってみると相当きついですよ、本気で体を絞りたい人にはかなりお勧めです。迷ってる人はぜひ!

ろっこうニュース

36カチット販売開始

(社)太陽の家との部材内製共同プロジェクトの新アイテム「36カチット」の販売を開始いたします。この製品は【カンタンで確実に取り付けができる】吊ボルト用のケーブル支持具です。製品の仕様は次の通りです。



- ・吊ボルトへのケーブル支持に使用します
- ・W3/8ボルトにカンタンに取り付けられます
- ・Fケーブル6本まで支持可能

36カチットも既存の製品と共に現場の省力化に寄与出来る事と確信しております。

なお、今回の製品は新たな試みとして社員の方から名称を募集しましたが、技術本部 今橋さんの「36カチット」に決定致しました。たくさんの応募を頂きましてありがとうございました。残念ながら提案が採用されなかった方も次のチャンスがあるかも知れませんので、その際にはぜひご協力いただきたいと思っております。開発室では、更なる有用な部材開発・改良のため皆様のご意見・ご要望をお待ちします。

(開発室 川上貴司)

行動するシニア軍団誕生！

「手足は出すが口は出さない」、「支援はするが指導はしない」、をキーワードに、行動するシニア軍団(テクニカルセンター)が組織された。ここに配属されるのはいづれもベテランの技術者で、各現場の問題解決に行動で貢献する集団を目指すものだ。

(長江洋一)

新規工事の受け入れ手当てが必要だが人がいない、現場でトラブル発生人員は手一杯で手が廻らない、施工体制をギリギリ一杯で組んだ為、現場の計画(申請、届出、外注計画のための基本作業)が予定通りに進まない、臨機に投入出来る余剰要員は不在。従ってこれらに対し有効な対策、手当てが実施出来ない、こんな状況を日常経験され困っている課長さん、部長さんがいるのではないのでしょうか!



従来の現場は、工事課長・部長のもと現場責任者が一手に責任を担い、先発完投型の体制で現場を消化してきました。しかし、現場はアクシデントが付き物、緊急事態に至らなくてもそれに近いニアミスは日常茶飯。現況の組織では、タテシステムの組織上、支援要請の実現は極めて難しかった。

この度、新たに設立するテクニカルセンターは、このような潜在的要望を全社横断的に捉え、予防的に現場の支援をリリーフ&クロザーとして実施してゆく組織です。加えて現場の出来高に寄与することも目的の一つであります。費用負担は実費(工事原価)はともかく、交通費程度を原価に付け替える程度です。テクニカルセンターではこれらの問題を始め、その他の現場業務へベテラン要員が手を差し伸べ、自ら実務的に処理いたします。

新しい試みであるため初期段階における試行錯誤、紆余曲折は多少免れません。しかし、現場関係者のニーズを的確に捉え、多種多様な現場の要請に応えつつ、実践的な施工高増進へ積極的に貢献できればベターと考えております。それと同時にテクニカルセンタースタッフは、建築設備のスキルアップに努め、究極的には専門集団へと変化することが必要不可欠の要件となりそうです。

(テクニカルセンター準備室 曾根 洋)

規程の制定と改定

セクシュアルハラスメント防止規程

4月1日に男女雇用機会均等法が改正されました。今回の改正の大きなポイントの一つは、女性だけでなく男性に対する差別も禁止されたことでしょう。また、今回の法改正では職場のセクハラ対策が事業主の義務となったため、当社では今まで就業規則の条項で定めていたセクハラに関する規定とは別に、新たに「セクシュアルハラスメント防止規程」を6月1日付で制定し、社内に周知することにしました。その他にも、人事部主管の各研修で行ってきたセクハラに関する講義も、今まで同様継続して行っていく予定です。

新たに制定した規程では様々なセクハラに関する禁止事項が定められていますが、セクハラは相手に対する「思いやり」で防止できるものです。セクハラを意識しすぎてギスギスとした関係にならないよう、相手を思いやる気持ちを大切に、今まで以上に働きやすい職場づくりを目指しましょう!

慶弔見舞金規程

1976年に制定されて以来、約30年間支給額の見直しはほとんどされていなかった「慶弔見舞金規程」が5月1日付で一部改定されました。日々変化する経済環境の中、「会社からの支給はこれだけ?」と密かに気になっている方もいらっしゃるのではないのでしょうか???遅ればせながらではありますが最近の経済事情を鑑みて、ほとんどの項目で支給額を引き上げ、併せて3区分にわかれていた勤続区分を2つの区分にして、よりわかりやすい規程を目指して改定しました。

(人事部 山田路子)

Bravoプロジェクト大阪に展開

石橋を叩き壊すような勢いで進路を確認しつつ、少しずつですが着実に歩んでおりますBravoプロジェクトの近況をご紹介します。

思い起こせば、今年の3月に産声を上げました当プロジェクトチームも、お陰様で一年余りが過ぎました。(昨年7月号の部署紹介にてお披露目させていただきました。)現メンバーは、私を含め4名の弱小チームではありますが、人数はともかくとして、PM(プロジェクト・マネジメント)の経験を積み重ね、質的にパワーアップしておりますさて近況ですが、当初より協力させていただいておりますボヴィス・レンドリース・ジャパン社(<http://www.bl.jp/>)の関西支店にも、今年の4月から森川・丸林の2名が従事しています。ですので、大阪での状

況を簡単に紹介して貰いましょう。

(東京第三支店 三浦清志)

Bravoプロジェクト大阪チームが勤務する関西支店のオフィスは、大阪城近くの大阪ビジネスパーク(OBP)に位置する、26階建ビルの13階にあります。オフィスの窓からは大阪城や大阪城ホールを一望出来る素晴らしいロケーションにあり、一流サラリーマンになった気分です。仕事は、ソフトバンクモバイル携帯電話無線基地局建設プロジェクトのマネジメントで、現在、約35名のスタッフが丸一となって頑張っています。PMと言うとイメージが掴みにくいかも知れませんが、若い皆さんも、機会があれば、是非経験して欲しいと感じています。きっと将来役立つ貴重な体験になるでしょう。

(東京第三支店 丸林 啓一朗)

久々の笑顔

新緑爽やかな4月30日、神宮軟式球場で、第48回電業協会主催の大会に参加しました。初戦はトーエネック東京支店チームで当社の先発は、新人の笹木陽平君です。右サイドスローで、立ち上がりに硬さが見られたものの、初回はゼロで押さえました。2回の表、当社の攻撃では、池部君、佐藤君の集中打により、4点先取。守備ではあまり経験がない根本君がファインプレーで盛り上げてくれました。チームワークも高まり、6回には追加の4点を入り10-3で勝ちました。

2回戦は雨模様の中、宇田川電気工事との対戦です。社長を含めて11人での戦いでした。右の本格派、川口裕太郎君、展開は混戦模様となり、1点差まで追い上げましたが、5-7で惜敗しました。最近はなかなか勝てず、久しぶりの初戦突破でした。社長が出た時には、相手チームが驚いていました。秋の大会も新たな気持ちで歴史を作ります。今回も社員の皆さん応援ありがとうございました。



(東京本店 荘司英雄)

Diary (Around the Head Office-22)

～ やはり歳かな ～

「智恵子は東京に空がないと言ふ、ほんとの空が見たいと言ふ。…」高村光太郎の「あどけない話」と云う詩の一節を、この季節になると思い出す。数年前に みんなで一斉にでんきを消してスローな夜を と呼び掛ける『100万人のキャンドルナイト』と云う市民発の環境文化運動の記事に触れてからだ。この運動は、「夏至と冬至の夜の8時から10時までの2時間、でんきを消してロウソクを灯そう」との呼び掛けから始まり、環境省の後押しもあり、年々参加企業も増えて、同日の夜8時になると事務所の照明や広告のネオンサインなどを消している。東京タワー、お台場の観覧車、札幌の時計台などもその時刻間に隠れる。ドミノ倒しのように端から消えてゆくベイブリッジの消灯模様は一見の価値ありとのことだ。日本照明器具工業会の「照明器具リニューアルのおすすめ」と云うパンフレットによると、建物の一次エネルギー消費量のうち照明用エネルギーは約26%を占めるとあり、この運動は大きな省エネ効果をもたらしていることになる。この様な消灯による省エネもあるが、照明器具は15年が耐用限度として、安定器内部やソケットの劣化等による思わぬ事故の懸念を挙げ、器具交換(リニューアル)に省エネの観点に加え、ラビット式器具をインバータ式器具や高出力のHi器具への交換、センサーシステム制御などにより消費電力を約16%～50%省エネ出来ると前述のパンフレットでは紹介しており、我が家の器具も一考の必要がある様だ。智恵子の見たかった本当の空は、故郷福島安達太良山の頂の青い空だった。東京の青い空は今でもあるが、多くの建物の明かりが夜空を照らし、残念ながら天の川の流れは見えない。せめて七夕の夜は、電気を消して天の川を見上げ、二人の逢瀬に遠い昔を重ねてみるのも…

(Tek)

「原価意識」をテーマに役員セッション

建設業をとりまく環境が大きく変わる中で、役員も考え方を考え続けなければならないが、実際には目先の対処に終始する傾向がある。そこで、わが社の基本方針を再確認する目的で、役員セッションが計画された。今回は「原価意識とは何か?」という短い命題を2日にわたって討論したが、全役員の考え方を整理・共有できたと思う。この成果は、これから始まる来期の経営計画策定に活かされてゆくはずである。(長江洋一)

我々は、重村取締役を班長とし、小田原本部長、堀川部長、松村副本店長、川畑支店長、吉原部長、私鹿久保、計7名にて、スタートしました。

初めに「原価とは?」について色々な意見が出て、このことについて長い時間を費やしました。工事担当者は工事原価を、部署担当者は部署原価を、その立場により原価の意味が色々である事を認識しました。その上で考えて行くと、原価意識=収支バランスと考え、部員全員が収支バランスを持てば良いこととなり、では、周知させる為にはと進み、我々が出した結論が「原価意識サイクルの確立」でした。原価意識を発展させ導き出す最終結果は利益確保と考え、部員を啓蒙して行くには身近な言葉が良いだろうと考え、家計簿感覚という言葉を使うことにしました。

この研修は長江社長の提案によるもので、会社をとりまくいろいろな問題を、実務を離れて検討するために開かれた。



テーマは「あなたにとっての原価意識とは」役員を二班に分かれ検討開始。我々の班のメンバーは菊地本店長をリーダーとし、京増支店長、日高支店長、長江支店長、小川工事本部長、佐々木の計6名。当班は支店運営または、現場管理する部署の人が多いため、初めから、今年の原価超過の傾向について分析を開始した。まず当社は「儲けるのが下手」。追加変更の交渉、常用による労務費のかかり過ぎ等、利益確保に繋がらないことばかりしていないか?しかし、ここで再度テーマにもどり、各自の立場で原価意識を考えていくと、いろいろな意見、発見した考え方、非常に纏める事が難しいことばかりだった。私が皆の意見から今後行きたいことは「問題点の早期発見による対応」早期発見するにはどうするか、課題はまだまだ続き結論はでない。

今回、日頃落ち着いて考える事が少ないテーマについて議論する事ができた。しかし、あなたにとっての原価意識とは、今回、明確な答えはでなかったが日々のいろいろな業務においてすこしでも意識をもって接することによって、少しでも業務の改善することができると良いと思った。

(東京本店工事総括部長兼設備工事部長 佐々木 俊二)



原価意識サイクルを常時、回して行くうちに自然と原価意識は身につくと期待して我々の結論となりました。

討議時間は1日半、人それぞれ色々考えが有るものだなと感じた2日間でした。(横浜支店長 鹿久保 清)

“ろっこう”が選ぶ優秀安全標語

各支店の安全朝礼などで採用された安全標語の中から、新聞委員会で最優秀作品を選びました。

「やってよかった小さな改善 やらずに後悔大きな災害」
(横浜支店 杉田 美紀子)



横浜支店では、安全朝礼や支店会議時に各現場の改善点や危険箇所についてよく話し合います。その話を聞いて、思いついた標語です。現場での朝礼時に発言してる人の声が小さいとKYや安全の注意ポイントが聞こえないため、皆にキチンと伝わりません。もし、話が聞こえなかった人が事故に遭ってしまったら大変なことになります。だから日頃の朝礼時に皆にわかりやすく大きな声で話をする事がとても重要です。すぐに実行や改善が出来そうですが、大災害を防ぐとても大事なことだと思います。そしてこの標語も、現場の無災害に少しでもお役に立てたら嬉しいです。

求む！新技術開発アイディア

アイディア募集 しています!!

ソフト/ハードを問わず、何でも思いついたもの!

技術開発賞 5万円ほか

2006年は優秀賞(3万円)が出ました

提出期限: 2007年8月31日
提出先: 本社 技術本部

応募書式等詳しくはポータルサイトをご覧ください
六興電気 技術開発課

おしらせ

活躍する六興OB **遠藤 章さん**

六興電気を2003年1月に定年退職し、早いもので4年半になりました。在職中は皆様の厚意に対し、改めて感謝しております。



退職後は即、比企元顧問のご紹介によりまして新規就職先である(株)アネシスというビル総合管理会社にお世話になり、あっという間に4年半が経過いたしました。(株)アネシスはビル建物等の総合管理会社で各ビル建物等の総合管理業務の他に最近では駐車監視業務の部門もできて、現在は中央区地域を担当しております。私が所属しています技術サービス部では各ビル建物等の設備で電気、空調、衛生、防災設備等の運転作業、保守点検作業、管理業務(記録、報告書等の作成)、環境測定等の作業を行っており、緊急故障等による対応及び修理等の協力をする部署でもあります。その他には、施主に対して省エネルギーの提案書の提出及び各作業所に対しての省エネ管理方法計画等の実施指導を行っております。又、施主からのご意見および要望事項を聴取し、各作業所の担当者に伝達し、指導または協力し対応をしています。各作業所においては、提案による改修工事及び修繕工事を経験豊富な社員が、管理している状態です。又、馴れない清掃作業等は下請業者の作業を見て勉強しております。最後になりますが、六興電気(株)、関係関連会社の更なる発展と、社員皆様のご健康を心から願っております。東京本店の皆様にはお世話になりました。

任用測定試験を実施します

3級チャレンジ試験は、7月28日(土)に本社で実施いたします。3級チャレンジの判定は、筆記試験(社内一般常識問題+職種別専門問題)と人事考課が判定の基準となります。5級チャレンジの判定は、事前の論文提出と社長面接により決定いたします。本年度は3級チャレンジが52名、5級チャレンジが28名の有資格者が対象となっております。結果は10月1日付の人事社告で発表いたします。

Armsがバージョンアップしました

今回のバージョン(2.0.4)よりSpamメール対策として、特定の禁止ワードが本文中にあるとそのメールを受信しないよう改良を行いました。禁止ワードは業務上必要の無い単語を登録してありますので、メール送信時には必要外の単語を使用しないよう十分注意してください。また、要望の多かった未送信メールの印刷機能を追加しました。

社員間の贈答

お中元の時期となりました。毎年のことですが社員同士での贈答は控えるようにしましょう。

クールビズ2007

今年も暑い夏がやってきました!各部署とも恒例の「COOL BIZ(クールビズ)」を実施中だと思います。涼しく快適に格好良く働けるビジネススタイルを取り入れ、地球温暖化対策の一環として、夏のエアコンの温度設定を28 にしよう、という主旨を忘れずに、今年の夏を快適に乗り切りましょう!

ブログを作成しました!

今までポータルサイトやサイボウズのトップ画面でシステム開発室からのお知らせを掲載してきましたが、これらを集約し「システム開発室から」と言うブログを作成しました。今後システム開発室からのお知らせ等はブログに掲載しますので、定期的に見る様お願い致します。

ブログURLは...<http://gauss2.6kou.co.jp/wp/>

受注!

- ・西新井駅西口地区E街区計画 (東京本店)
- ・東京国際大学付属日本語学校改修計画 (東京本店)
- ・聖マリアンナ医科大学エネルギーセンター (第三支店)
- ・フローレンス幸町グランドアーク (東北支店)
- ・町屋有料老人ホーム計画 (北関東支店)
- ・医療法人積愛会横浜舞岡病院増築 (横浜支店)
- ・小牧(18)通信局舎等新設 (名古屋支店)
- ・灘区桜ヶ丘マンション (神戸支店)
- ・RRP平成18年度AT期間中!/C点検 (EP部)
- ・徳島大学(医・歯病)西病棟新営その他 (四国支店)
- ・キャンプフォスターゲート改修 (九州支店)

お世話になりました



6月20日をもちまして非常勤顧問を最後に退職致しました。昭和59年3月1日の入社以来、既に23年有余の勤務でした。今にして思えば瞬間に過ぎ去った気が致します。「光陰矢の如し、歲月人を待たず」の心境です。さて、長年担当の懸案問題も社長殿の大英断により漸く終止符を打つ事が出来ました。そのお陰で小職も心おきなく去ることができ、安らぎを感じる昨今です。

私事で恐縮ですが「うちの会社」のお陰で私は息を吹き返すことが出来ました。と申しますのは入社前の銀行に勤務当時、全く理解できない歯科医の誤診と手術により上顎の欠損を蒙り、未だに不自由に悩まされて居ります。術後は話も出来ず、約40日間は筆談を余儀なくされるなど、まさに奈落の底に突き落とされ、目の前は真っ暗闇の地獄一不安のみが脳裏を横切り絶望感に打ちひしがれたました。その後、半年程度を経過し不自由ながら話ができるようになり、経営相談所に転勤、引き続き銀行の関連会社に転籍しましたが、如何にしても気力、活力を取り戻す事ができず悲哀と無情を痛感する悶々の毎日でした。

そんな時に長江社長(現名誉会長)から入社のご招請を受けました。大変なご好意に感謝感激の思いでしたが、数年に亘る閑職勤務のため自信喪失が先だち躊躇しました。然し温情溢れる激励のお言葉を頂戴し、お世話になる事を決意した次第です。入社当初は戸惑う事も多く自分自身の歯がゆさに嫌悪感を抱く事も屢々でしたが、創業者特有の発想、経営の仕振りに直に接し種々ご薫陶を賜ったこと、そして役員各位のご指導と温かい友情のお陰で嘗ての雑念は何時の間にか消滅し仕事に没頭できた事は無上の喜びであり、感謝に堪えません。重ねてお礼申し上げますと共に皆様のご健勝と愛する六興電気の益々の隆盛を祈ります。

(梶山 諭)

■ ■ 美味しいお店 (番外編) ■ ■

ひなせ 日生カキ祭り

「カキオコ」

先日、日本のエーゲ海と言われる瀬戸内地区へ行ってきました。そこでは毎年、日生(ひなせ)カキ祭りが開催されており、旬の新鮮な殻付きのカキを目当てに大勢の観光客で賑わっています。

会場に入ると、備前焼小町を尻目に「カキオコ(カキのお好み焼き?)」が私の目にとまりました。「オコノミ」・「カキ」といえば広島を思い出す人も多いと思いますが、「カキオコ」の発祥地は岡山(備前)とされています。さっそく、われら長岡家は、長蛇の列のできる、人気の屋台に並び、恥ずかしながら初!? カキオコを食べてみました。お味のほうはチーズのような餅のような、そしてさらに海の香りがして意外にも美味しいもので満足いたしました。皆さんも瀬戸内を訪れた際には、備前のカキオコをご賞味ください。



人気の屋台「タマちゃん」

(中国支店 長岡重勝)



私が入社したのは今から25年前で東北支店営業課に所属し、支店の受注目標が15億でした。支店経営方針も官庁主体工事の定評から民間工事受注の糸口を模索しようとしている時期でもありました。そんな時、同業他社の営業取組方と違う方法から地元でできる営業活動

として、某選挙事務所の仕事を人脈作りの一環で手伝い、団塊世代の仲間と天下国家を論じ、ついつい話に夜明かした時代でありました。今では、その仲間も定年を迎えようとしております。世代間越え、熱く燃えて意見が違っても良き仲間でありたい、支えあえる仲間でありたい、人生粋に感ずる事が自分をこれまでに育ててくれた事に心から感謝申し上げますとともに、これまで多くの機会を与えてくださった事に関係各位に対して改めて御礼を申し上げます。

1981年10月21日入社以来、東北支店、東日本事業本部、開発営業部と25年間の在職中公私共に一方ならぬご厚情を賜りましたこと、そして去る5月に東北支店の心温まる送別会は、生涯を通じ、一生の思い出であります。その励ましと、ご恩を忘れず、今度は商空間プロデューサーの株式会社ラックランドで6月よりお世話頂くこととなりました。これも皆様方のご支援の賜物であり、微力ながら新職務に精励致す所存でございます。今後とも相変わらぬ御厚誼を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。末筆ではございますが、皆様のご繁栄とご健勝を心からお祈り申し上げます御礼かたがたご挨拶申し上げます。(針生 正)



リレートーク

ー私の趣味「ゴルフ」についてー



ゴルフは六興電気に入社してから始めて10年になります。今はもっぱらゴルフシーズンになると土・日曜日テレビの前で横になって

ゴルフ観戦ばかりしています。子供からはブーイングばかりですが、お陰でイメージトレーニングは完璧です。ただ実践はなかなか上達せず110台を行ったり来たりしています。

昨年11月に高知の黒潮カントリークラブでカシオワールドオープンが開催され、運よくチケットを入手したので観戦に行きました。今までテレビで観ていた片山、谷口、宮里他の生のプレーを観ることが出来て、感動しました。そしてなんとミッシェル・ウィも参戦しており間近で応援しました。身長も高いけどメチャクチャ顔がちっちゃくて八頭身で可愛かったです。(写真を撮れなかったのが残念です)

そしてなんと、私も黒潮カントリークラブでプレーすることが出来ました。結果は前半49、久々の好成绩でしたが後半まさかの65の大乱調で終わってみれば、いつもの114で高知の南国気分を味わう事無く、ミッシェル・ウィのプレーを思い出す間も無く6時間が過ぎてしまいました。

インターネットで黒潮カントリークラブを検索してみてください、南国ムードでほんとにプレーしたくなりますよ、その時はお待ちしています。

今回は九州支店 楮山哲哉さんよろしくをお願いします。

(四国支店 西川雅司)

People エネルギープラント部 古川博俊さん ~ 休日もパパは頑張ってます ~

皆様こんにちは、EP部の古川です。私が今はまっている事...夢中になっている事を紹介させていただきます。



古川史章くん(小6)

それは今小6になる息子の野球です。子供会の野球チームで親が運営している為にコーチとして土曜・休日家にいる場合はすべて朝から晩まで参加しています。私も、小中高と野球をしていたので嫌いではないのですが、自分がやるのではなく、子供達に教えるのはすごく難しいです。どうしてそれが出来ないか、それが判らないか手取り足取り教えているのに、理解してくれず「こらっ!!」と叫んでいます。私も父から小学校時代に野球を教わり出来ないと父は怒り無言でいなくなっていました。私も今同じ様に教える側の立場に立つとあの時の父の気持ちが判りました。子供に怒りすぎると下を向き消極的となり何も出来なくなる。又あまり注意しないとふざけて練習にならない。試合の時も子供たちのモチベーションを上げるのに苦戦して

います。コーチ陣はかなり力が入り熱いのですが、子供たちは冷めている事が多いです。最近の子供は、あまり感情表現を上手に出来る子供が少ないと思います。(ヒットやファインプレーをしても喜ばない)そんな子供達が多いので、この機会に本当の野球の楽しさ教えていき、子供の良い所をどんどん伸ばしてあげたいです。

今年1年間野球のコーチとして頑張り、次は下の女の子のソフトボールのコーチに参加する予定です。たまにはゆっくり休みたいと思いつつ子供とふれあえる貴重な大事な時間を楽しみながら成長を見守っています。



アンバイヤーが古川さん